

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍の状況で運営推進会議の開催が出来ていない。	コロナ収束後には運営推進会議が開催できる。	地域の方々へ開催に向けての打診を行い、日程調整を行う。開催にあたり感染対策を十分とった上で具体的には3密回避、ソーシャルの確保、換気を行い開催の場を設ける。	3ヶ月
2	35	自然災害時の対応として地域の方への協力依頼が出来ていない。	自然災害時のマニュアルに具体的な行動計画盛り込まれ明確化する。又地域の方々の助けとなれるように助け合いの関係性を築いていきたい。	運営推進会議の議題に自然災害(水害、地震)が起こった場合の避難経路確保の想定と避難行動計画を書面にて示しご意見をいただく。具体的なマニュアルの作成が出来たら実際に避難訓練への参加を依頼する。	1ヶ月
3	40	外部委託の食事内容について食事の量、味付け、具材の切り方、適温食であるか十分に把握できていない。	入居者の方の食事内容について知ることができる。課題があれば、直ぐに修正することが出来る。	食事内容を把握する為、食事レク、外部委託している食事について少量ずつ職員が食し検食スタイルを取り入れ、食事の量、味付け、具材の切り方、適温食であるかどうか確認する。	1ヶ月
4	20	コロナ禍の状況であり、外出や外泊ができていない。また、ボランティア等の受け入れもできていない。	コロナが終息、または落ち着いた際は、外で家族と過ごすことができる。また、ボランティアの受け入れを行う。	ご家族と外出・外泊をすることで、関係の継続を支援する。また、ご入居者の生活歴や趣向に寄り添い、外部ボランティアの受け入れを行っていく。	3ヶ月
5	26	ケアの向上・統一を更に深める。	より分かりやすい書式を使い、ケアの向上と統一を行う。又職員の介護技術に対するスキルアップを目指す	二週間に一度の定期往診後を目安としてケア一覧を更新し周知していく。介護技術については実践的スキルの評価基準をもとに、まずは基本となる入浴、食事、排泄についての技術評価を行っていく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。